

はなわ 議会だより

2023
No.161

発行/福島県埴町議会
令和5年1月20日

発行者 埴町議会議長 割員寿一
編集 埴町議会広報常任委員会

〒963-5492 福島県白川郡埴町大字埴字大町三丁目21
TEL 0247-43-2150 FAX 0247-43-2116

URL <http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>
E-mail gikai@town.hanawa.fukushima.jp



読書・読み聞かせで心を豊かに —町立図書館—

関連記事は P12・P15

12月定例会

12月定例会	P 2 ~ 5
町政を問う(一般質問)	P 6 ~ 15
追跡レポート	P 16
10月臨時会	P 20
委員会合同行政視察研修	P 21



埴町議会ホームページ QR



埴町議会フェイスブック QR



埴町議会ツイッター QR

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：HSジュニアベースボールクラブ
 活動場所：埴小学校グラウンド他
 監督：鈴木 和典 TEL090-7321-3713
 団員：12名

埴野球少年団は、令和2年より鮫川スポーツ少年団と合併し、HSジュニアベースボールクラブとして活動しています。

世間はサッカーワールドカップで盛り上がりましたが、来年3月にはいよいよWBCが始まります。侍ジャパンが日本中を盛り上げてくれること間違いなし！ 野球に興味がある方、興味はあるけど始めるきっかけがなく、と迷っている方、ぜひ一度体験にいらしてください。

誰でもはじめは初心者です。女の子も活躍しています。野球を通じてあいさつや礼儀も学び、基礎体力もアップします。子どもたちが、気迫あるまなざしで白球を追いかける姿

は、見ていて胸が熱くなりますよ。一緒に野球ができる日を楽しみにお待ちしております。

練習日 火、木 18時～20時
土、日 9時～13時



みんな、なかよく楽しく、パワー！

編集後記

令和4年は、ウクライナ戦争、コロナの感染拡大、物価の高騰など、政治や経済が激変の時を迎えていますが、新庁舎建設で旧車庫などの解体も進み、子ども第三の居場所の建設も進められております。

12月定例会では、より良い埴町にするために新たな提案や審議が執り行われました。これからの時代は、農業・環境・エネルギーの循環型ともいわれており、議会としてさまざまな課題解決の必要性を強く感じ、取り組みを進めたいと思いますので、議会に進言していただければと思います。

吉田 広明

あなたも議会を傍聴してみませんか

令和5年3月定例会は
3月7日(火)からの予定です。

場所 役場2階 議場

傍聴時は感染症予防の観点から
マスク着用をお願いします



各種価格高騰対策の給付金などを可決

一般会計9130万円を増額補正のほか、農業委員会委員15名を同意



12月の例会のし
定例会
あらま

12月定例会は12月8日(木)から12日(月)までの会期で開催しました。条例8件、計画変更1件、契約締結1件、補正予算7件が上程されました。また、最終日には、人事案件16件が追加議案として提出され、いずれも原案どおり可決・同意となりました。

一般会計補正予算

【主な内容】

- ・日陰解消事業立木伐採委託料 800万円
- ・日陰解消事業立木伐採補償金 130万円
- ・主要な国道沿線における日陰解消を図り、冬期間の道路交通の安全安心を確保する。
- ・子育て世帯給付事業給付金 2205万円
- ・町内の0歳児から現中学校3年生までに1人当たり2万円、さらには来年度小学校・中学校入学予定者には1人当たり3万円を加算して給付する。
- ・子宮頸がん予防接種助成 5万円
- ・積極的勧奨を控えていた時期に任意接種した方へ助成する。
- ・肥料高騰支援給付金 203万円
- ・稲作経営体に給付金を支給する。
- ・飼料価格高騰支援給付金 795万円
- ・乳牛・肥育牛・繁殖牛・飼育農家に対して給付金を支給する。
- ・電気・飼料高騰支援給付金 100万円
- ・養鶏事業者に対して給付金を支給する。
- ・農業水利施設整備工事 1200万円
- ・上渋井地区用水路整備工事で、未整備水路をコンクリート水路に改修する。
- ・観光拠点施設燃料高騰支援給付金 300万円
- ・道の駅はなわに対して電気・ガス代値上がり分の一部を補助し、経営の安定化を図る。
- ・農林水産物直売・食材供給施設臨時休業営業補償金 79万円
- ・道の駅はなわ空調設備改修に伴う飲食事業臨時休業の営業補償金。過去3年間の飲食部門の売上

- 額の平均から休業日相当の売上を算出し、原価相当分の30%を控除した額を算出し支給する。
- ・町内宿泊事業者エネルギー価格高騰支援給付金 650万円
- ・町内宿泊8事業者を対象に給付金を支給する。
- ・湯遊ランドはなわ内風呂修繕工事 185万円
- ・内風呂に大規模な漏水が判明したため、重油代にも大きく影響を及ぼしているため修繕工事を行う。
- ・湯遊ランドはなわ休業補償金 181万円
- ・各種工事を同時に行うことになり、休館期間を当初予定の10日間から1月15日から1月29日までの15日間に延長することになったため、5日間の休業補償金を株式会社塙町振興公社へ支払う。算出方法は、公共用地の取得等に伴う損失補償基準に基づき支給する。
- ・上町線地質調査業務委託料 550万円
- ・児童・生徒の通学路である町道上町線の擁壁崩落危険箇所を未然防止するため、工法選定するため地質調査する。
- ・子ども園南側室外機防音対策工事 400万円
- ・近隣住民への防音対策として防音工事を実施する。

質疑(条例)

- Q 町職員の定年延長について、町民にどのように知らせていくのか。
- A 広報はなわ等で周知していく考えである。
- Q 町職員の勤勉手当について、勤務成績に応じて支給するとあるが内容は。
- A 勤務評定で50点に満たない職員は率が下がるが、そのような職員は現在いない。各項目で加点方式により積み上げ、点数評価している。

質疑

(町道川上東河内線の変更契約)

- Q 法面の管理はどのようにしていくのか。
- A 防草シートを検討したが当面見送り、町の方で維持管理していくこととする。
- Q 湯遊ランドはなわの案内標識・看板設置の考えは。
- A 今後、関係課と協議し検討していく。

質疑(補正予算)

- Q 変更内容と積算基礎は。
- A 道路案内標識と矢羽根型路面標示の設置などである。積算のための見積りを3者からとり、その中で一番低い額で積算している。
- Q 矢羽根型路面標示とは
- A 自転車の通行位置と方向を明示し、自転車の安全な通行を促すもの。
- Q 当初計画になかった信号機が八幡側に設置してあったがその経緯は。
- A 当初、交通量を考慮すると設置は難しいという県からの回答であったが、令和4年7月14日に常世北野連合区(八幡区・水元区・赤坂区)が信号機設置の要望書を提出したところ、棚倉警察署が県警本部と協議した結果、設置する方向になったという報告が町にあった。その後、協議を重ね設置するに至った。
- Q エアコン室外機が稼働する主な時期はいつか。
- A 夏が頻繁に稼働する。冬は石油ファンヒーターも使用するため、夏に比べれば少ない。
- Q 消防屯所シャッター修繕料の内容は。
- A 台宿の消防団屯所のシャッターで、劣化による修繕である。
- Q 日陰解消事業立木伐採委託料・補償金の場所と補償金の算定内容は。
- A 国道289号線・八幡地内。白石石油店の先の日陰になっている箇所、冬場の路面凍結防止を図る。今回、町の方で買い取りし発注する。補償金算定は、東北地区用地対策連絡会の算定標準書による。



矢羽根型路面標示(イメージ)

議案等の審議結果一覧表

議案第 45 号	埴町一般職の任期付職員等の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
令和 4 年福島県人事委員会勧告に準ずる給与改定。①特定任期付職員の期末手当支給割合の改定 ②一般任期付職員給料表の改定		
議案第 46 号	埴町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
職員の定年に係る運用を国・県に準拠するための改正。①職員の定年を 65 歳とする ②定年を段階的に引き上げる ③管理職の上限年齢を原則 60 歳とする ④再任用職員がなくなり、定年前再任用短時間勤務職員を新設		
議案第 47 号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例整備に関する条例の制定	原案可決
改正地方公務員法の施行に伴い、職員の定年に係る運用等について、各種条例の所要の改正。		
議案第 48 号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
令和 4 年 12 月支給の期末手当を 0.05 月分増額。令和 5 年度以降の支給割合については、0.05 月分増額した割合 (3.15 月) を 6 月 (1.575 月) および 12 月 (1.575 月) 支給分に均等に振り分ける。		
議案第 49 号	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
令和 4 年 12 月支給の期末手当を 0.05 月分増額。令和 5 年度以降の支給割合については、0.05 月分増額した割合 (3.25 月) を 6 月 (1.625 月) および 12 月 (1.625 月) 支給分に均等に振り分ける。		
議案第 50 号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
令和 4 年福島県人事委員会勧告の内容に準拠し、職員の給与改定を行うため、当該条例の所要の改正。地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の整備を行う。		
議案第 51 号	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税等の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
被災した被保険者に係る国民健康保険税等の減免に係る財政支援が、令和 4 年度分まで延長されたことにより、適切な取り扱いができるよう提案。		
議案第 52 号	埴町下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例整備に関する条例の制定	原案可決
下水道事業 (公共下水道および農業集落排水事業) に地方公営企業法を適用するため、各種条例の所要の改正。		
議案第 53 号	埴町辺地総合整備計画の変更	原案可決
令和 4 年度に実施する予定の事業「町道羽原谷地宝坂線舗装補修事業」について事業費の変更を行い、辺地対策事業債の対象事業として執行するもの。		
議案第 54 号	工事請負変更契約の締結	原案可決
一級町道川上東河内線の道路改良工事の一部を変更。変更前工事請負金額 5280 万円。変更後工事請負金額 6070 万円。契約の相手方は深谷建設株式会社 代表取締役 深谷佳孝。		
議案第 55 号	令和 4 年度埴町一般会計補正予算 (第 5 号)	原案可決
歳入歳出それぞれ 9130 万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ 77 億 6929 万円とするもの。		
議案第 56 号	令和 4 年度埴町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
歳入歳出それぞれ 63 万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ 9 億 6295 万円とするもの。		
議案第 57 号	令和 4 年度埴町農業集落排水処理事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
歳入歳出それぞれ 2195 万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 2 億 1510 万円とするもの。なお、集落排水施設整備事業 6194 万円について、繰越明許費の設定をする。		
議案第 58 号	令和 4 年度埴町公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
歳入歳出それぞれ 157 万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ 2 億 6942 万円とするもの。なお、終末処理場施設管理事業 1843 万円について、繰越明許費の設定をする。		
議案第 59 号	令和 4 年度埴町介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
歳入歳出それぞれ 120 万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ 12 億 1106 万円とするもの。		
議案第 60 号	令和 4 年度埴町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
歳入歳出それぞれ 17 万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ 1 億 1973 万円とするもの。		
議案第 61 号	令和 4 年度埴町上水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
収益的収入の予定額を 2 億 6458 万円、収益的支出の予定額を 2 億 4546 万円、資本的支出の予定額を 1 億 7530 万円、第 7 条に定めた経費の金額を 3578 万円とするもの。		
同意第 3 号	埴町農業委員会の委員に占める認定農業者等または認定農業者等に準ずる者の割合を 4 分の 1 以上とすること	同意
規定により、農業委員会の委員に占める認定農業者等および準ずる者の割合を少なくとも 4 分の 1 以上とすることについて、議会の同意を求める。		
同意第 4 号～第 18 号	埴町農業委員会委員の任命	同意
農業委員会委員の任期が令和 5 年 2 月 17 日で満了となることに伴い、候補者 15 名を同委員に任命するため、規定により議会の同意を求める。任期は、現委員任期満了後の、令和 5 年 2 月 18 日から令和 8 年 2 月 17 日までの 3 年 (1 期)。		

Q 観光拠点施設燃料高騰支援給付金の積算根拠と財源は。

A 道の駅はなわの電気代・ガス代は昨年度の支援であり、電気代は昨年度の料金を基にシミュレーションしその上昇分が約 250 万円、ガス代は実績により値上がり分が約 50 万円で計 300 万円。財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する。

Q 子育て世帯給付事業給付金は、時限的か恒久的か。時限的であれば不公平なものとなる。

A 来年度からも、小学校・中学校入学者に対して給付を続けていく努力をしたい。

Q 肥料高騰支援給付金は、町独自の支給か県の補助があるのか。また、どのように支給するのか。

A 県の補助金に、県と同じ基準で町分を上乗せして支給する。稲作経営体 293 件に対して、耕作面積 30[㍎]以上の農家で 10[㍎]当たり水稲 500 円、水稲以外 1500 円、ただし 10[㍎]の自家消費相当分を控除する。

Q 観光拠点施設燃料高騰支援給付金および町内宿泊事業者エネルギー価格高騰支援給付金だが、支援の対象が限定されているのではないか。

A ささまざまな事業者等へ対しては、埴町エール商品券で応援をしたという認識である。今回は特に、電気代・ガス代高騰の影響を受けて厳しい状況にある施設を支援するということがある。

Q 農林水産物直売・食材供給施設臨時休業営業補償金および湯遊ランドはなわ休業補償金だが、指定管理しているにも関わらずなぜ町が補償するのか。

A 道の駅はなわについては、町の施設管理で空調関係の入れ替えのためレストラン等を休業していただくことになったため。湯遊ランドはなわは、町の各種工事により休館していた。指定管理料は施設の管理を委託しているものであり、大規模な修繕は町の施設のため町が行う。両方の施設とも、行政側の理由による業務の内容変更によるため、休業補償をするものである。

役場新庁舎 News

令和 4 年 6 月定例会以後の議会関連の経緯を掲載します

令和 4 年 7 月臨時会

令和 7 年度までの継続費設定 (総額 18 億 6200 万円)、令和 4 年度一般会計補正予算・新庁舎関連予算を可決。(賛成 8・反対 4)

令和 4 年 10 月臨時会

庁舎建設第 I 期工事請負契約の締結を、賛成 11・反対 1 で可決。契約額は 13 億 7478 万円で、契約の相手方は日本住宅株株式会社郡山支店 支店長 桑島孝昌。完成工期は、令和 6 年 7 月 26 日。内容については、20 ページ参照。

令和 4 年 12 月 21 日

庁舎建設第 I 期工事安全祈願祭が举行され、正副議長および各委員長が出席。



新庁舎建設予定地にある車庫等の解体作業



新庁舎イメージ

一般質問 町政を問う



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

自発的に動こう！

森林浴・おいしい食事等を皆で楽しめる、そういった施策展開を図りたい思いがある。

質問 健康増進活動に、ポイント付与できないか。
答弁 行政ポイントを導入したく検討している。どのようなシステムで導入できるかなどが課題となっている。
質問 ウォーキングを効果的にするため、インスタクターを配置すべきではないか。
答弁 ウォーキングを活用した健康づくり・

町づくりを推進すべく、日本ウォーキング協会に協力・連携していただく予定で協議を進めている。各地域の健康増進リーダーとなる人材として、広く町民の中から公認インスタクターを養成していく予定である。
質問 町民インスタクターは継続性の問題がある。町でも専任者を確保しておく必要があるか。

あるのではないかと。町では木育を進めているが、歩育という考えもあり、教育にもウォーキングは生かされることから、養成する方向で進めている。
質問 健康増進と公園整備を合わせてはどうか。
答弁 インスタクターが育ち、町民が健康になれば町財政にも好影響である。健康増進施設である湯遊ランドの周辺に、公園・遊歩道があれば、お風呂・健回炉・ウォーキング・森林浴・おいしい食事等を皆で楽しめる、そういった施策展開を図りたい思いがある。

答弁

ぜひ進めたい事業の一つである

質問

健康増進活動にポイント付与できないか

観光資源を体系的に発信するよう努めるべき

体系的に情報発信することは必要不可欠

P7



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

- ・ 町民の健康増進
- ・ 観光振興
- ・ 老朽住宅および空き家対策

P8



すずき しげる
鈴木 茂議員

- ・ 人口減少対策

P9



よしだ ひろあき
吉田 広明議員

- ・ 「不登校」や「引きこもり」対策
- ・ マイクロ発電および小水力発電

P10



よしむら もりひろ
吉村 守広議員

- ・ 庁舎建築
- ・ 学校教育の諸課題
- ・ 消防団

P11



しもじゅう よしと
下重 義人議員

- ・ 町職員の定年延長
- ・ 中央省庁に対する要望活動内容
- ・ 衆議院小選挙区区割り改正
- ・ 子ども第三の居場所
- ・ 小中学校の給食内容
- ・ IP告知システム

P12



ななみや ひろき
七宮 広樹議員

- ・ 町立図書館
- ・ はなわの秋祭り
- ・ 旧常豊小学校校舎

P13



きくち てつや
菊地 哲也議員

- ・ 持続可能な財政
- ・ 子ども第三の居場所事業
- ・ 庁舎建設による町への経済効果

P14



あおと ようぞう
青砥 与藏議員

- ・ 公共交通
- ・ 田代地域の実証実験
- ・ DXの対策・方向性
- ・ 区や集会所の維持・管理費

P15



よしだ かつのり
吉田 克則議員

- ・ 町民からの声に対する町の対応等
- ・ 町長の町政施策および予算編成方針の考え
- ・ 埴町振興公社

特定空き家対策条例の制定は 制定する方向で検討している

質問 老朽化した町営住宅について伺う。
答弁 公営住宅法の耐用年限を超える住宅がある。安全な住宅提供のため、有利な建て替えができるよう進めている。住み替えによる経済負担の影響が出ないよう計画する。
質問 空き家対策の費用削減策はどうなったか。
答弁 解体費用の無料試算システムを町ホームページに公開した。所有者に紹介し、危

険空き家除去の促進を図る。
質問 特定空き家対策条例の制定、また、町が解体した場合の費用請求はどうなるか。
答弁 条例制定の方向で検討している。危険空き家と認定された後、助言・指導・勧告・命令・戒告と行政代執行まで一定の期間がある。町が解体した場合、費用全額を国税徴収法に基づき所有者に請求する。回収不能となる可能性はあると考えている。

質問 観光情報を発信した町民に、ポイント還元できないか。
答弁 観光資源を知ってもらうことから始める必要がある。広報はなわに観光情報発信コーナーを設け、観光資源の魅力を知ってもらう。
質問 観光資源を生かした企画を持つ町民に、宿泊施設等との連携を後押しできないか。
答弁 ふるさと産業お

こし連絡協議会や観光協会がその役を担うものと考えている。個人加入可能なので、ぜひ参加して企画実現してほしい。
質問 ふるさと産業おこし連絡協議会が町主導になっていないか。
答弁 復興、風評払拭の名目で町主導になっていた。埴の秋祭りより、会員中心にイベントを組み立てようと改

めている。町は財源的な裏付けに努める。
質問 八幡太郎義家の大蛇伝説を調査しているグループがある。率先して関わるべきではないか。
答弁 日本史の大発見となる可能性もあり、期待している。県立博物館に協力依頼中の調査内容もあり、一緒に取り組んでいける方法を検討している。

一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会により掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

一般質問用 QRコード



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像をご覧いただけます。



よしだ ひろあき
吉田 広明議員

エネルギーの
地産地消に水と風

引きこもり対策支援施設が必要では 町村会会議の中で話し合う

【答弁】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【質問】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話し合う。4町村の施設として、町村会会議の中で議論し開設を考えられるか伺う。

【答弁】 対策施設が必要だと思ふ。運営には、看護師や精神カウンセラー、就労支援アドバイザーや共同生活支援施設、または長期合宿型就農施設、就労定着施設が必要になる。4町村の施設として、町村会会議の中で議論し開設を考えられるか伺う。

【質問】 義務教育終了後、さまざまな理由で引きこもりが増加傾向にある。実態を把握しているのか伺う。

【答弁】 不登校から引きこもりになることは認識している。民生児童委員さんが確認したのには13人であったが、実際にはもっと多くの人がいると思われる。実態把握と情報共有をしながら将来に向けて防止できるように対策したい。

【質問】 対策施設が必要だと思ふ。運営には、看護師や精神カウンセラー、就労支援アドバイザーや共同生活支援施設、または長期合宿型就農施設、就労定着施設が必要になる。4町村の施設として、町村会会議の中で議論し開設を考えられるか伺う。

【答弁】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【質問】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【答弁】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【質問】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【答弁】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【質問】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。

【答弁】 国からの取り組み事項や協議会の設置が求められている。町村会会議の中で話す。



水車を利用した
小水力発電施設 (イメージ)

【質問】 エネルギーの地産地消が叫ばれている。河川や支流を利用した、小水力発電やマイクロ発電、ミニ風力発電などに取り組むべきだと思ふ。収益は、高齢化対策、福祉対策に使うなど、さまざまな考え方を織り込んだ環境保全型事業は可能なのか伺う。

【答弁】 農業用水を利用した小水力発電は可能である。土地改良事業、農村整備事業、地域用水環境整備事業、水路等長寿命化防災減災事業があり、「みどりの食糧システム戦略」を実行していく上で政府として推奨している。

【質問】 町内に上水・排水10施設が稼働している。小規模発電技術は開発が盛んに進められており、上下水道水を利用したマイクロ発電は「環境アセス」、河川法などの許認可や諸経費が少なく、これを利用して上下水道料金の財政負担を少なくするために取り組むべきである。設置が可能なのか伺う。

【答弁】 新エネルギー法の中に環境配慮型発電があり、法的、技術的にも可能であり多角的に検討したい。

【質問】 ミニ風力発電なども通販で売っている。個人設置も可能な時代であるが、補助が可能なのか伺う。

【答弁】 こういう時代なので、国県などの補助などを調べて、ぜひ検討したい。

【質問】 エネルギーの地産地消が叫ばれている。河川や支流を利用した、小水力発電やマイクロ発電、ミニ風力発電などに取り組むべきだと思ふ。収益は、高齢化対策、福祉対策に使うなど、さまざまな考え方を織り込んだ環境保全型事業は可能なのか伺う。

【答弁】 農業用水を利用した小水力発電は可能である。土地改良事業、農村整備事業、地域用水環境整備事業、水路等長寿命化防災減災事業があり、「みどりの食糧システム戦略」を実行していく上で政府として推奨している。

【質問】 町内に上水・排水10施設が稼働している。小規模発電技術は開発が盛んに進められており、上下水道水を利用したマイクロ発電は「環境アセス」、河川法などの許認可や諸経費が少なく、これを利用して上下水道料金の財政負担を少なくするために取り組むべきである。設置が可能なのか伺う。

【答弁】 新エネルギー法の中に環境配慮型発電があり、法的、技術的にも可能であり多角的に検討したい。

【質問】 ミニ風力発電なども通販で売っている。個人設置も可能な時代であるが、補助が可能なのか伺う。

【答弁】 こういう時代なので、国県などの補助などを調べて、ぜひ検討したい。

答 弁

新たに県立矢吹病院と連帯支援を行う

【質問】 いじめの原因以外でも、「自分の居場所、ここでない」と思ったり、我慢した反動で不登校になったりするが、不登校の実態は増加傾向にあるのか伺う。

【答弁】 不登校は小中学校で6名がいる。急激に増えている状況ではないが、不登校29日以下の児童生徒が微増傾向にある。教員が家庭訪問をしたり、保健室での勉強、タブレットでのやり取りや公民館で「あすなる教室」を実施したりしている。

質 問

不登校の実態と対策は

質 問

町が危うい！ 強力な人口減少対策を提案するが町長の考えは！

答 弁

財政面も考えしっかりと取り組みたい

【質問】 この10年間で1558人町の人口が減少した。さらにこの5年間は減るスピードが加速している、町長の認識を伺う。

【答弁】 国の対策が大きいが、地域の活性化や努力が必要だと思われる。

【質問】 人口減少対策として私が考える子育て支援策を提言するが、町長の考えを伺う。

【答弁】 人口減少対策として私が考える子育て支援策を提言するが、町長の考えを伺う。

【質問】 人口減少対策として私が考える子育て支援策を提言するが、町長の考えを伺う。



すずきしげる
鈴木 茂議員

子育て支援は
人口減少対策の
一丁目一番地だ！

一般質問

一般質問



町の将来を担う子どもたち





しもむら よしと 下重 義人議員

辛抱する木に花が咲く



よしむら もりひろ 吉村 守広議員

習うより慣れよ

日本住宅株式会社の概要は

本社盛岡市、資本金9030万円

【質問】令和4年8月の庁舎建設第1期工事の一般競争入札で、「日本住宅株式会社 郡山支店」が、13億7478万円で落札した。予定価格よりも1億円以上も安く、すでに解体工事も始まっている。この会社の概要は。

【答弁】設立は昭和59年4月、本社は岩手県盛岡市、資本金は9030万円、売上高は令和3年12月で373億円、1都10県に支店があり、郡山支店は平成18年に開業した。目標は1兆円企業で、拠点を全国へと広げている発展途

消防庁長官通知の対応で団員報酬の支払いは今年から本人へ直接支給された

【質問】上期分の団員報酬や出勤報酬の支払方法は。

【答弁】団員報酬は活動状況報告書で、出勤報酬は出勤簿により、班長が確認し、分団経由で報告されている。団員報酬は312名分659万円、出勤報酬は延べ305名分34万7千円、団員本人へ直接支払われた。



プリティッシュヒルズ

令和4年度学校・施設訪問の結果は

適切な運営、管理がされている

【質問】教育委員会により実施された「令和4年度学校・施設訪問」の結果は。

【答弁】教育活動の資質向上や、施設および学習環境が整備されているか等を目的に、各学校や給食センター、図書館、美術館等を視察した。施設は多少経年劣化があるが、修繕予定になっている。その結果は。

質問

埴町職員の定年延長は

答弁

段階的に65歳まで引き上げられる

【質問】地方公務員の定年延長に伴う改正地方公務員法の施行を受け、町職員の定年延長をどのように考えていくのか。

【答弁】令和5年度から地方公務員の定年が、段階的に2年に1歳ずつ65歳まで引き上げられる。国、県に準拠した形で、条例を改正していくこととなる。

中央省庁に向けた農業に関する要望は町村会としてまとめたい

【質問】東白川地方町村会における中央省庁に対して年々増える耕作放棄地の農業に関して要望の考えは。



耕作放棄地（イメージ）

【答弁】「耕作放棄地」に関しては、大変重要な課題と認識しており、今後東白川地区の共通な課題として検討をした上で、町村会として意見がまとめられ国への要望を実施していく考えである。

選挙区区割りの会津地区との関係は

東・西地方町村会が連携して協議

【質問】衆議院小選挙区区割改正で新たに県南・会津地区との新3区が再編成されたが、今後会津地区との関係をどのように構築していくのか。

【答弁】地方特性や気候の違い等を起因とする課題も数多く、選挙本来の姿を鑑みればこの改正が住民の生活に利するとは考えにくい。今後、会津地方の首長さん方と協議や意見交換の場を設けていくことから始めたい。

「子ども第三の居場所」の進捗状況は

施設利用料金や申込み等を協議

【質問】運営開始に伴う利用料金や職員採用などの進捗状況は。

【答弁】「子ども第三の居場所」事業運営推進委員会で協議検討中である。



七宮 ひろき 議員

町民に寄り添った
議員で有り続ける

町立図書館の今後の運営と管理は

質問

埴町観光協会に業務委託する

答弁

質問 現在、業務委託している内田洋行と、令和4年度で契約が終わると聞か。 **答弁** 内田洋行が、図書館事業から撤退することになったため。

質問 令和5年度からの業務委託先に、当てがあるのか。 **答弁** 埴町観光協会に業務委託を考えている。

質問 埴町観光協会の事務所は図書館に近いが、分野も違い心配もあると思う。埴町観光協会に業務委託をする理由は。 **答弁** 建物一帯で管理ができ、図書館業務に詳しい事務局長のため、支障なく運営管理ができるものと考えている。

質問 蓄積されてきた図書システムの移行に、支障や不具合などの問題は無いのか。 **答弁** 今までのシステムを使用できるので、問題なく管理運営ができる。

質問 現在、内田洋行に雇われ仕事をしている方々の移行や、給与・処遇等は。 **答弁** 全員が引き続き業務に従事し、給与や処遇についてはこれから具体的にしていく。



図書館内の様子

次回の「はなわの秋祭り」は

年2回、開催したいと思っている

質問 今回の開催が手探り状態であり、イベント業者への依存度も高く、良い面・悪い面が合ったと思うが、検証は行われたのか。 **答弁** 検証は行ったが、出店者へのアンケート調査は実施していない。より良いイベントになるよう努力していく。

質問 町のビッグイベントとして、どのような方向性で道筋を付けていくのか。 **答弁** 検証は行ったが、出店者へのアンケート調査は実施していない。より良いイベントになるよう努力していく。

質問 町民がつくりあげていくお祭りにしていくかと思っている。 **質問** 産業祭時の「水上俵引き」の継続や、注目を集め発信力がある提案を募集する考えは。 **答弁** 水上俵引きは、埴町望舎が主催者で行っていたので今後協議していく。

答弁 町民がつくりあげていくお祭りにしていくかと思っている。 **質問** 産業祭時の「水上俵引き」の継続や、注目を集め発信力がある提案を募集する考えは。 **答弁** 水上俵引きは、埴町望舎が主催者で行っていたので今後協議していく。

●埴町望舎：「水上俵引き競争」や「国際ワークキャンプ埴町」を主催しているボランティア団体

旧常豊小学校校舎を 起業を目指す人・ベンチャー企業の事務所に

常豊地区の代替施設の一部の利用として考えている

質問 緑に囲まれ、(仮称)新雨谷橋も間もなく開通し、289号線の改良計画もある。取り巻く環境は良好で将来性を踏まえ、新たな拠点づくりとして方向性を定め、起業を目指す人や、ベンチャー企業の事務所として整える考えは。 **答弁** できれば、老朽化してきている常豊地区の代替施設

の一部の利用として考えている。 **質問** いつでも人を呼び込むためには、雨漏り工事や電気・水道のメンテナンス、Wi-Fiの設置など最低限の環境づくりが必要と思うが。 **答弁** これからも、しっかりと維持管理していく。

質問

町財政は持続可能か

答弁

将来に向け縮小しなければならぬ

質問 埴町の標準財政規模はおおよそ40億円と思われるが、予算規模は80億円である。次の世代へ持続可能なのか。 **答弁** 現在の行政サービスを大きく低下させないで財政規模を少しずつ縮小していきたい。

質問 一般会計起債残高68億円のうち20億円が臨時財政対策債だが、臨時財政の考え方は。 **答弁** 借金と考えるべき。今後、起債額を大きく減らす方針。ただ、財政措置がある分は有利に使用していきたい。

質問 臨時債を使わず、また財政規模も少しずつ縮小していくことは、将来への責任と評価するが行政サービスの今後の方針は。 **答弁** 限られた財源、人的資源のなかで行政サービスの見直しは必要と考える。受益と負担をより明確化し、住民自らの責任と判断で地域の行政サービスの水準を決めていく仕組みづくりが必要。

質問 埴町では事務事業評価を行っているのか。 **答弁** 行っていない。事務事業調整会議と予算査定がこれにあたる。 **質問** 事務事業調整会議や予算査定の方針は。 **答弁** 町がやらなければならぬ本筋に必要なら、他に効率的な方法はないか、利用者の固定化になっていないか、将来も継続していけるのかという視点を持つてやる。

質問 埴町は面積が広く、また少子高齢化、インフラの老朽化と今後、多くの資金が必要と思われるが。 **答弁** 業務プロセスの抜本的見直しなど行政改革へ積極的に取り組んでいく。



子どもたちに大人のツケは残せない

子ども第三の居場所事業の目的が変わったのか

コミュニティの場所としても期待している

質問 子どもたちの困難は多岐にわたるが第三の居場所事業の担当部署は。 **答弁** 子どもの問題全般を見る子ども支援室を新たに作りたい。

質問 ひとりの子供も取り残さないというところから、いろいろな人のコミュニティの場が変わってきていると思われるが。 **答弁** コミュニティの部分も大きなウェイトを占めている。

役場庁舎建設による 経済効果は

基本は民間同士だが 期待はしている

質問 庁舎建設に伴う経済効果を。 **答弁** 基本は民間同士なので町は入れないが、飲食や燃料などさまざまな分野において、波及効果を期待している。



てつや 菊地 議員

次の世代へつなぐ
責任がある

一般質問

一般質問



あおと 青砥 議員
ようぞう 與藏 議員

ふばつのこころざし
不拔之志

公共交通空白(田代・那倉)地域のコミュニティバスは

実証運行はコロナ対策で当初予定より遅れている

質問 過疎化により路線バスが廃止され、住民の足となる交通網をどのようにして維持していくかは、中山間地域を抱える自治体の差し迫った課題である。埴町では、田代地区・那倉や片貝地区の路線から外れた地域が多く点在、この地域の公共交通を確保する必要がある、国土交通省(特例)の自家用有償旅客運送の実証運行の状況を伺う。今までの実証運行で得られた重要な項目は何だったのか。

質問 田代地区の実証運行の進捗状況は。
回答 福島交通、タクシー会社へ実証運行を依頼。人材不足・コロナ禍の対応で実証運行は、遅ればせながら令和5年1月から2月まで運行実施する。平日運行(2日)で午前8時から午後4時まで、前日予約、無償運行する。
質問 対象者・対象地域は。
回答 田代地区の高齢者を対象に、病院・買い物などドアツードアを行っていく。
質問 事業運営管理者、運転者は。
回答 事業体制ができるまでは行政、その後は話し合い。
質問 管理事務方は社協・シルバー人材センター・商工会などがあると思うが。
回答 話し合っており決まらぬと良いと思う。
質問 事業経費の行政負担・利用者の負担割合については。



デマンド交通(イメージ)

質問 田代地区の実証運行の進捗状況は。
回答 タクシー・バス料金より安い金額で利用できるようにする。
質問 事業の出遅れは、地域の期待に説明が必要では。
回答 まだまだ先があるので、検討したい。
質問 実証運行の車両は何か。
回答 レンタカーのワゴン車。運転手はプロの方。

なぜDXが始まったかを認識していただきたい

国の流れ・方向に沿ってやっていく

質問 少子高齢化、労働力人口減少社会では、DXの効率的に研修・運用が必要だが。
回答 時代に合わせて対応できるようにする。

質問

町民からの声、対応は

答弁

要望があれば検討する

質問 町民から声がある。図書館利用時間帯の延長要望があるが。
答弁 (教育長) 多くの皆さまから図書館利用時間帯を長くする要望があれば検討する。
質問 あぶくま高原美術館に「ハナワクジラ」の展示要望があるが。
答弁 (教育長) 現在、福島県立博物館で管理されている。現時点では正式な学名が決まっていない。クジラの種類を決める調査中。

今後は国際的な場に論文を提出し調査は完了となる。調査完了まであと一年はかかる。所有関係者の方々が町での展示を希望する場合は町としても前向きに検討する。
質問 タヌキ、ネコ等小動物の交通事故による死骸の扱いは。
答弁 町道は生活環境課で死骸の処理をしている。道路管理者が不明のときなどは生活環境課へ連絡を。

町施策は、何を基本に 基本理念、次の世代へ

質問 町長は町施策について、何を基本に捉え町政運営を行っているのか。
答弁 基本理念、次の世代に町をつないでいく思いを実現させるため可能な限り施策を実施していきたい。
質問 町有施設と子ども食堂の関係は。
答弁 子ども第三の居場所、子どもたちの食堂も含めた名称。
質問 子育て地蔵前の「紅葉」木を伐採するのは困る声。子ども第三の居場所をつくるための地区説明会等は開いたのか。

答弁 (教育長) 枝が折れやすく危険である。いずれ伐採となる。はなわ代官にぎわい座とは事前に話をし、了承を得ている。
質問 埴町高は令和5年度から入学を停止する。町では以前に存続署名活動運動をしたが、町民に知らせる義務があると思うが。
答弁 廃校に関しては、県の所有物であるから町はお願ひしていくしかなく、出発時点から弱い立場にあった。

質問 次年度予算編成方針については。
答弁 令和5年度予算編成方針については、各課等の長および全職員に指示した。業務の集約化、効率化、業務プロセスの抜本的見直し等を通し、行政改革に積極的に取り組むとともに、全ての事業について必要性、緊急性、優先性を点検し、新規事業の創設については必ず終わる時期を設定して、既存事業についても原則として終期を設け事業廃止休止も検討する。



よしだ かつのり 議員
吉田 克則 議員

税金の使い道、公平で公正に、疑問の12月定例会!

振興公社経営悪化に伴い

業務改善支援等業務委託は

質問 町振興公社事業運営および業務改善支援等業務委託に至った経緯は。
答弁 振興公社の経営が悪化に伴い、2カ年にわたり経営改善のコンサルタントを派遣。株式会社旅館マナージメンサポートに随意契約。委託料については

見積もりを徴し町で積算設計をした上で契約に至った経緯がある。
質問 補正だけで年3回、コンサルから疑問。
答弁 町の施設なので直す、ごく自然。「湯遊ランドはなわ」に補助しているわけではない。

町の花「ダリア」・「湯遊ランドはなわ」咲き誇れ



一般質問

行政区の再編が必要では

連合区で検討していただきたい

質問 少子高齢化の影響は、行政区の維持に影響を与えている。空き家、老人世帯が増え、区の運営費が減少している。行政区の仕分け、再編成が必要と思うが。
答弁 連合区の中で検討していただければと思う。
質問 回覧板の折り込みで、戻ってくる資料はなくすべきでは。
答弁 IP告知による情報伝達があるので、今後検討する。

ひとことインタビュー

令和4年12月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



わたなべ まさお
渡邊 雅男さん(川上)

早期にマスク着用が不要になり、表情が見える議会を！

―町に対する意見や要望―
先日、笹原幼稚園で楽器演奏会をしました。20年以上前に初めて呼んでいただいたところは、年少年長あわせて40人ほど園児がいたと記憶しています。毎年行ってきましたが、年々減り少して今年も病欠もあつたのか園児6人でした。笹原小学校1年生2年生も幼稚園に出向いて参加してくれ

ましたが、総勢20人足らず。始めたころは町内5カ所での演奏でしたが、統合が進み今年2カ所です。子ども園1カ所になるのはさほど遠くないと思います。時代の趨勢(社会の流れ)とはいえ、なんとかならないものかと本当に感じます。
演奏会場の幼稚園遊戯室に入るときに、笹原小児童が一人ずつ「失礼します」と言って一礼する姿に感動しました。整然と園児・小学生にあいさつをいただき、演奏が済んでそれぞれ教室・小学校に戻るときも規律正しく、日本の(塙の?)初等教育は正しいと思えました。
変に「子どもの人権が」、自由な教育が(云々)と騒ぎ立てることなく、礼儀正しい筋の通った子どもたちの育成を望みます。



―傍聴したきっかけは―

以前からネット配信の動画を拝見していて、一度生で見たいなと思っていました。生業の関係で日程を合わせづらく、二の足を踏んでいたところ、今回、広報常任委員からお誘いを受け事前に事務局に連絡して日程を確認し、生業休日である月曜日の一般質問を拝聴することになりました。機会を設けていただき、ありがとうございます。

―傍聴した感想は―

議場に入場される際、退出する際に一礼をされる議員・職員の皆さんの姿に驚き、美しいなと感じました。3名の議員が質問に立たれましたが、皆さんそれぞれ特色のある切り口・内容と町長・教育長・担当職員とのやりとりで、とても興味深く拝見させていただきました。20年後・30年後を見据えた町のお金の話について、

―町に対する意見や要望―

で、町内辺縁部の交通弱者を救うためのオンデマンドバスの運行について、コロナに対する町の姿勢について、静かに・熱く・真摯に行政担当者との意見をぶつけ合っていて、とても見応えのあるやりとりだったと思います。この50分から60分を越える内容を議会だよりの1ページに凝縮する作業は、担当議員の苦労は大変なものだなと改めて感じました。

また、笹原幼稚園で楽器演奏会をしました。20年以上前に初めて呼んでいただいたところは、年少年長あわせて40人ほど園児がいたと記憶しています。毎年行ってきましたが、年々減り少して今年も病欠もあつたのか園児6人でした。笹原小学校1年生2年生も幼稚園に出向いて参加してくれ



あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

こども園への遊具移設は (令和2年12月定例会)

こども園が開設されたが、築山に設置された大型すべり台1台のみで遊具が設置されていない。
保育部の年齢では不安定すぎて遊べない子が多いこと、身体形成期にさまざまな遊具を利用して体を育てることが重要だが、園庭で走り回ることのみでは不足すると思う。
当初計画では移設するとしていたが、いつ移設されるのか。またどういった遊具を移設する予定か。

答弁

令和3年度に旧塙幼稚園・旧塙保育園より移設する計画

旧塙幼稚園より8連登り棒・ジャングルジム・3連鉄棒、旧塙保育園より大型コンビネーション(アイランドコテージ)の移設を令和3年度に計画している。

その後

令和3年度末に、木製遊具が設置される

移設予定であったが、森林環境譲与税を活用し、県産材を使用した木製遊具が設置された。
設置遊具は、こども園の要望に合わせたものを設計・設置した。うんてい、すべり台付複合遊具、鉄棒、登り棒が設置された。
開園後2年経過しての設置完了となったが、教育現場の要望に合うとともに、木のぬくもりを感じることで遊具設置となった。

新庁舎建設の必要性は (令和2年12月定例会)

令和2年10月の全員協議会で庁舎の現状と改修・改築の説明を受けたが、新庁舎を建設することでよくなることは何なのか。どこまで機能性のある庁舎なのかキーワードになると思うが。

答弁

改築することが町にとって最良の選択

国の有利な財源である「市町村役場機能緊急保全事業」を活用し改築することで、財政負担軽減や住民サービス、災害への対応等がしっかりできる。

その後

工事請負契約が締結 (令和4年10月臨時会)

令和3年2月の全員協議会で「庁舎改築」方針決定の説明を受ける。議会では令和3年11月、桑折町および大熊町の新庁舎を視察。

令和4年10月臨時会において、庁舎建設第1期工事を日本住宅株式会社郡山支店と契約することを可決。令和6年5月開庁に向けて、現在工事中。



役場新庁舎(イメージ)

総務常任委員会

スクールバスおよび児童 保育の運営状況

- ・調査日 令和4年10月21日(金)
- ・場所 委員会室および埴小学校
- ・出席委員 下重義人委員長
ほか委員全員(計7名)
- ・調査のまとめ
幼稚園で送迎バスに幼児が置き去りになり死亡事故があったため、当町における乗降時の安全確認状況を調査した。町では、スクールバスとダリア観光バス、福島交通を利用して送迎を実施している。それぞれの学校や幼稚園で任意の方法により、バス



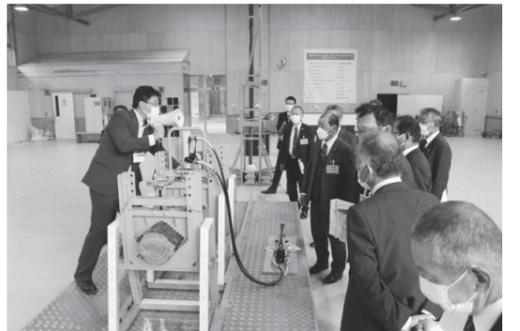
の降車時に運転手や職員が車内に誰もいないことを確認している。このような事件は発生していないとの説明であった。国ではバス内に安全センサー等を取り付ける議論が出ているが、やはり人の目で確認することと、欠席時の対応が重要であり、現在、それが確実に実行されていることが確認できたが、引き続き危機管理意識を持ち、事故の未然防止に努めていただきたい。

児童保育の運営状況についても調査した。実施日は、各学期期間中および長期休業中、実施時間は、原則平日は下校時より午後6時、実施場所は、各小学校、旧埴幼稚園であった。料金は月額3千円となっている。支援員は11名で対応しているが、不足しているとのこと。預かる児童数も多く、手のかかる児童もいるので支援員の大変さを痛感した。放課後家に帰っても見えてくれる人がいない家庭にとっては、安心して子どもを預けられる事業であり、事故等に注意して事業を進めてほしいと感じられた。

経済常任委員会

林業アカデミーふくしま事業 および地域振興・活性化施設 の運営状況

- ・調査日 令和4年10月28日(金)
- ・場所 林業アカデミーふくしま(郡山市道の駅ふくしま(福島市))
- ・出席委員 七宮広樹委員長
ほか委員全員(計6名)



・調査のまとめ
林業アカデミーふくしまは、令和4年4月に開講し研修施設は令和4年9月に完成。長期・短期で14名が研修している。樹木学・測量・造育林・討伐・木材加工・各種機械操作などを学び、インターンシップを経た後に林業関係先に就労する。施設には寮施設もなく、近くに駅がないので、遠方から通うのには課題が残る。研修先として埴町笹原財産区にある町有林の一部を無償で貸付しており、今後の人材育成と効果的な運営に期待したい。

道の駅ふくしまは、令和4年4月にオープン。初年度の売上目標は8億円だったが、10億円に届くとの説明を受けた。東日本大震災の教訓からの要素も取り入れた子どもの遊び場・防災倉庫・多目的広場などを併設した複合的施設であった。高速度道路の出入り口にあり、災害時の緊急対応をする機能や日々の地域活性化に貢献している。

予算決算常任委員会

埴町振興計画(実施計画)案の審議 計画期間：令和5年度から令和7年度

- ・調査日 令和4年12月5日(月)
- ・場所 議場
- ・出席委員 吉田克則委員長
ほか委員(計10名)
※議長は職務出席
- ・説明員 町長、教育長、各課等の長

1. 調査の結果

個別事業計画について、説明員から概要説明を受け計画案全般を了承としたが、事業継続の必要性や対象者の見直し等を十分精査した上で、効率的かつ効果的な行政運営ができる予算計上を望む。

2. 主な質疑(抜粋)

- Q 農林推進課所管の地域おこし協力隊活動事業だが、活動予定の内容は。
- A 林業関係の協力隊である。町有林・遊歩道整備、菌床キノコ等の栽培、木工分野の技術の継承に努めていただく。製品製作など。

Q 地籍調査事業だが、今後の調査実施地区の考えは。

A 現在、山形湯舟地区と田野作地区を実施しているが、今後山形を横断的に調査していきたいと考えている。

Q 町出身の偉人漫画作成事業だが、どのような方か。

A 白石禎美氏を漫画化することを予定している。町の主な施設である埴厚生病院や埴工業高等学校、水郡線磐城埴駅などを自己財源で発展させた方である。100ページ程度の単行本で1500冊を予定している。

Q 小中学校のタブレット端末の更新についての補助事業はあるのか。

A 現段階で把握している内容では、更新についての補助事業はない。

Q 定住自立圏連携事業について、成果があまり出ていない。新たな提案等はあるのか。

A 八溝地域と白河地域で自立圏構想に参画している。動きがあるのは白河地域である。観光面だとTOKIOの「トキオバー」など各種イベントの開催、婚活事業の展開を行っている。

Q 遊具等整備事業は、今ある遊具を新しくするのか、それとも新たに公園等を整備して設置するのか。

A 現段階では今ある施設を充実させるのか、新たな整備をするのかの検討に至っていないが、令和6年までに整理していく。

Q 工業団地造成事業について、どこにどの程度のものを予定しているのか。

A 工業団地造成事業は、新たにこちらに進出したいという希望があった場合に、ある程度の条件の土地について調査をする。また、既存の企業で規模拡大をする場合に、調査委託料を活用していく。

Q 町営住宅集約建替事業について、建替場所とどの程度のものを建てるのか。また、新しくなると家賃が高くなると思うが、その対応は。

A 町道北野松岡線の改良完成後、胡桃下団地周辺に若宮・大町・南原の町営住宅の集約を考えている。具体的場所は決まっていない。家賃の件だが、建て替え後は現在の入居者を優先的に入居させる。家賃が上がる懸念があるが、段階的に据え置いて、負担をかけない形で家賃設定をしていく。

Q 埴町脱炭素地域計画提案書作成事業の詳しい内容は。

A 脱炭素計画は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて国が取り組んでいくが、埴町としても取り組む必要があるため、計画を策定し推進していく。いろんな分野の方の意見を聞きながら、新しくつくっていく。

Q 防火水槽整備事業だが、八幡地区とあるが場所は。

A まだ具体的に決まっていない。旧常豊小のプールの取り壊しがあれば地区の要望を聞きながら場所の選定をしていきたい。



活発な質疑が行われました

ICTの取り組み・小水力発電・議会広報活動等を視察

—議会運営委員会および広報常任委員会合同行政視察研修—

11月8日(火)～10日(木)、全議員13名が参加して実施し、今後の議会・議員活動の参考になる意義ある研修となりました。



ICTの積極的活用、議会の見える化

11月8日・愛知県安城市で「議会運営全般およびICT化の取り組み状況」を研修。ICT技術の積極的な活用推進、議会の見える化などを進めており、ペーパーレス化による経費削減や事務作業の軽減に役立っている。今後、当町議会においてICT化について検討する際は、目指すべき方向性、何ができるのか、どのような効果があるのかなどを協議していく必要がある。

日本一の小水力発電のまち

11月9日・静岡県富士宮市で「小水力発電事業」を現地視察を含め研修。富士山の湧水に恵まれ、用水路等の水を利用して、古くから水力発電事業が行われており、小水力発電の箇所数と最大発電出力の合計がともに日本一であることや、水力発電は、天候の影響を受けず24時間発電できる等のメリットがあるとの説明を受けた。水利権の調整や常時一定水量の確保など課題はあるが、地域経済への貢献もできるものであると認識した。



住み続けたい街1位(2021 静岡県版)

11月10日・静岡県清水町で「議会広報活動およびまちづくりの取り組み」を研修。清水町は、充実した子育て支援などにより県内からの若い世代の転入が多い。議会だよりについては、編集スケジュールなどは当町とほぼ同様だが、参考になるべき点もあった。まちづくりについては、子育て冊子の作成・配布のほか「子育てコンシェルジュ」を配置し子育て施策の充実、大学等新幹線通学支援事業、ゆうすいポイントカード、オンライン訪問看護などさまざまな政策を講じており、学ぶべき点が多いと感じるものであった。

10月

臨時会の
あらかし

令和4年10月12日に第6回臨時会(会期1日間)が午前10時より開会。議案2件の審議を行い、原案どおり可決となりました。

工事請負契約の締結

埴町役場庁舎建設第1期工事請負契約の締結。条件付一般競争入札により契約するもので、契約の相手方は、日本住宅株式会社郡山支店 支店長 桑島孝昌。完成工期は、令和6年7月26日。

13億7478万円

質疑

Q 予定価格の積算根拠は。
A 令和4年7月15日以降に適用される最新の公共単価で積み上げた額である。県の土木施工単価等に基づき積算している。

Q まち整備課に設置してあるもので閲覧可能である。
A 審議するに当たり、具体的な内容を事前に知らせていただきたい。

Q 議案書・予算書等をあらかじめ早めに届けられるよう努力する。



吉田克則議員

町民や議会への説明が足りない。コロナ禍などで資材高騰のときに建設工事を進めるのは、税金の無駄使いの懸念がある。町の運営見直し等がはつきりしていない。設計変更に対して、町民や議会に対しての説明が足りない。検討する余裕もないなか議決するのは疑問。

反対

討論

賛成



金澤太郎議員

庁舎建設については、継続費予算をすでに議決している。その契約締結の議案であり、何ら一切反対するものではない。議会に提出された額の範囲内であるほか、かなり低い額で入札が成立した。すでに議決したことの継続案件である。

すでに議決した内容の継続案件

採決結果

議案第43号 工事請負契約の締結	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
原案可決(賛成11、反対1)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 ※議長(割貝寿一)は採決に加わらない

一般会計補正予算

8130万円を増額補正。

【内容】

◆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 5460万円

価格高騰による家計への影響が大きい低所得世帯・住民税非課税世帯等に対して、1世帯5万円を給付する事業。事業費の全額は国の負担。

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 2670万円

国の新型コロナウイルスワクチン臨時接種事業の実施期間が延長されたことによるもので、事業費の全額は国の負担。

質疑

Q 給付金の基準日と対象世帯数は。
A 令和4年9月30日を基準日として、非課税世帯が1000世帯、家計急変世帯が50世帯を見込んでいる。

Q 家計急変世帯とは具体的にどのような世帯か。
A 退職等で、収入が予想せず減ってしまった世帯が対象となる。収入状況が急変したことのある書類の提出を求め、県とも協議しながら判定・判断していく。

議案第43号	工事請負契約の締結	原案可決
役場庁舎建設第1期工事を条件付一般競争入札により契約するもので、契約金は13億7478万円。契約の相手方は、日本住宅株式会社郡山支店 支店長 桑島孝昌。		原案可決
議案第44号	令和4年度埴町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
歳入歳出それぞれ8130万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ76億7799万円とする。主に住民税非課税世帯への電気・ガス・食料品等価格高騰緊急給付金事業など。		原案可決

議案の審議結果一覧

議会だより モニターさんの声

前回 10 月 21 日発行の議会だより 160 号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

- 1. 表紙・裏表紙について**
 - 記事と関連づけた表紙のつくりは良いと思った。学生をはじめとした住民にとって、水郡線が重要である様子が伝わってきた。
 - 「働くから元気になる」の言葉が胸にしみた。「忙しい」とぼやいているよりも「元気になるため」と思って仕事をする方がずっといい。日々の生活に生かしたいと思った。
- 2. 2～4 ページ（7 月臨時会）**
 - 町民にも親しみやすく、相談しやすい環境はもちろんのことだが、そこで働く役場職員が生き生きと働ける空間としても重要だと感じる。魅力と活力にあふれる町づくりを期待したい。
 - 一般会計補正予算の賛否は 8 対 4 での賛成多数で議決となった内容が、よく読み取れた。審議する中で賛成の理由と反対の理由を議会だよりでこのように明確にすることにより、町民にその過程を知ってもらうことは、大切なことだと思う。
- 3. 6～13 ページ（令和 3 年度決算、12 月定例会）**
 - 大切な血税であり、町・町民に真に必要なことに有意義に利用いただきたい。

- 9 月定例会のページは概ね読みやすく、分かりやすいと思った。健全化判断比率・資金不足比率の報告の項目が興味深かった。
- 4. 14～19 ページ（一般質問関連）**
 - 各議員が多方面の質問をしていて、その答えによって初めて知ることもあり「議会だより」が町民の情報源になっているなど感じた。
 - 表紙にも載っている水郡線の存続について、議会・町が一体となり対応してほしい。
 - 5. 後半ページについて**
 - 総務常任委員会のレポートで「類似町村と比較するとやや悪い状態である。自主財源に乏しく地方交付税への依存度が高い」さらに「段階的な水道料金改定は喫緊の課題」と記されているので、この問題についての早急な対応が必要であると感じた。
 - 6. その他**
 - 写真や表、グラフ等も多く見やすい紙面だったと思う。ただ、大人向けの内容であると思うので、もう少し小中学生も読めるような内容もあると若い世代からのなじみもよくなるのではないかと。



町村議会議員研修会に参加しました

議会のできごと

議員としての研鑽を深める

福島県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が 10 月 24 日、ビッグパレットふくしま（郡山市）で開催され、全議員が参加しました。県内の町村議会議員が参加する研修会で、東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳氏による「町村議会のあり方と今後の議会改革－ウィズコロナを意識して」と、政治ジャーナリスト・細川隆三氏による「日本政治の行方～ズバリ解説！政局の焦点」についての講演があり、意義ある研修会となりました。

議会活動出欠状況

令和 4 年 10 月 1 日 ～ 令和 4 年 12 月 31 日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
4. 10. 7	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4. 10. 12	議会運営委員会（10 月臨時会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	○	○
4. 10. 12	10 月臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 10. 12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 10. 13	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4. 10. 21	総務常任委員会（所管事務調査）	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	-
4. 10. 24	町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 10. 28	経済常任委員会（所管事務調査）	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○
4. 10. 28	行政視察研修	-	○	-	○	-	○	-	傷病	○	-	○	○	-
4. 11. 8～10	議会運営委員会および広報常任委員会合同行政視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 11. 29	議会運営委員会（12 月臨時会運営）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	○
4. 12. 5	予算決算常任委員会（塙町振興計画（実施計画））	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 12. 5	全員協議会（令和 4 年度定期監査結果報告（ほか））	○	傷病	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 12. 8	12 月定例会（1 日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 12. 8	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	○	-
4. 12. 8	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○
4. 12. 8	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-
4. 12. 9	12 月定例会（2 日目：一般質問 6 名）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 12. 12	議会運営委員会（追加議案）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	○
4. 12. 12	全員協議会（追加議案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 12. 12	12 月定例会（最終日：一般質問 3 名、議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 12. 12	議会運営委員会（12 月定例会検証）	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	○

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん 2 人に議会だよりについてご意見をいただきました。

人口増加が町の未来であり課題

議会だよりモニターも 2 年目になります。人口問題こそが、この町の未来であり課題だと再確認できました。日々の生活全てが人ありきだからです。

この町の 30 年後を思うと

き、ゆっくりではなく、何かをきっかけに爆発的な人口増加がでないものかと夢をさせます。荒唐無稽ではありますが、風光明媚、地震に強く首都圏に近い長所を生かし、近隣町村とタッグを組んで、シリコンバレー的な働く場所の確保ができれば、この町に壮大な未来が広がりますね。



おおなわ 大縄 いくみさん (本町)

身近に感じるものが多くなってきた

モニターを引き受けて 2 年になります。毎号関心を持って読むことで、身近に感じるものが多くなってきた気がします。議会を分かりやすく伝える紙面にも魅力があります。どのような

質疑応答がなされているのか、また、追跡レポートは一般質問のその後がよく分かる内容です。町政について関心を持ってもらうためにも、情報がつまった議会だよりをぜひ読んでほしいです。

さらに魅力ある議会だよりになるようお役に立てればと思います。



かなざわ せいし 誠司さん (植田)